



2021年3月期 中間年次報告書

自 2020年4月 1 日
至 2020年9月30日

アトミクス株式会社



目 次

- 株主の皆様へ…… 1 頁
- 営業の概況・
通期の見通し…… 2 頁
- 事業の概要…… 3 頁
- 業績の推移…… 4 頁
- 四半期連結
決算報告(要約)… 5 頁
- 会社概要・株式情報… 6 頁

拝啓 平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度の新型コロナウイルスにより、お亡くなりになられた皆様に謹んでお悔み申し上げますとともに、罹患された皆様の一日も早い回復を心よりお祈り申し上げます。

さて、当社グループの2020年4月1日から2020年9月30日までの業績を取りまとめましたので、その概況についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

2020年12月

代表取締役社長 神保 敏和

営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により社会・経済活動が大幅に制限され、非常に厳しい状況となりました。政府の各種対策により一部の業種で回復の兆しがみられるものの新型コロナウイルスの収束時期が見通せないため、依然として先行きが不透明な状況が続いています。

このような厳しい環境のもと、当社グループは、引き続き新型コロナウイルス感染予防と拡大防止を行いつつ、いまだ従来の事業活動、営業活動が抑制されるなか、ネットワーク環境を活用し社内外のコミュニケーションを図ることにより、営業活動、生産活動、研究開発活動を行ってきました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高48億4千万円（前年同期48億63百万円）、営業利益2億円（同1億57百万円）、経常利益2億12百万円（同1億72百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億39百万円（同1億3百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

〈塗料販売事業〉

道路用塗料は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を懸念していました公共工事が大きく減少せず一定の工事が施工され、特にインフラ補修関連製品が伸張し前年を上回りました。また、家庭用塗料は、ホームセンター分野及びインターネット販売による売上が引き続き順調に推移し前年を上回りました。一方、建築用・床用塗料においては、日本各地の集中豪雨、企業業績の悪化による製造業等の設備投資が控えられたため前年を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の塗料販売事業の売上高は前年同期と比べて92百万円増加し、46億71百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

〈施工事業〉

民間企業の設備投資が引き続き控えられ塗床工事の受注が低迷したこと、子会社アトムテクノスでは、工事案件が大型化しているなかで当第2四半期に完了した工事が少なかったことにより前年を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の施工事業の売上高は前年同期と比べて1億51百万円減少し、1億33百万円（前年同期比53.1%減）となりました。

通期の見通し

新型コロナウイルス感染症の影響により、社会経済活動が大幅に制限されるなか政府の対策により回復の兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せないなか、各地での災害も重なる状況となっており、今後も厳しい状況が続くものと予想しています。2021年3月期の通期業績につきましては、売上高109億円（前連結会計年度105億18百万円）、営業利益4億70百万円（同4億15百万円）、経常利益4億90百万円（同4億40百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益3億30百万円（同2億82百万円）を見込んでいます。

事業の概要

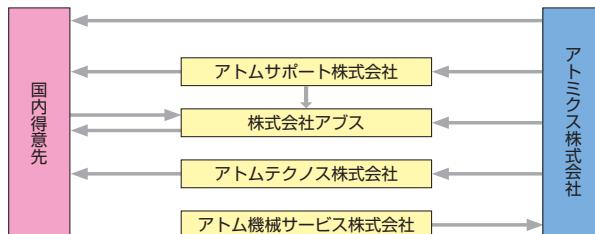
当社グループの概要

当社グループは当社及び国内子会社4社で構成し、塗料販売事業と施工事業を行っています。塗料販売事業では道路用塗料、床・屋根・防水などの建築用塗料、家庭用塗料、コンクリート構造物の保護・補修材の製造販売を行っています。

このほか、道路用塗料の施工機械の製造販売、交通安全や生活環境のインフラの維持管理に係るソフトウェアの開発と販売、物流業務を行っています。

また、施工事業では当社グループで製造した製品を用いた工事の請負を行っています。

当社グループの構成



経営の基本方針

当社グループは、塗料・交通安全の領域において「独創性に溢れた発想」と「高度な複合化技術」によって開発した製品と関連するサービスを提供することにより「安全かつ快適な住環境・屋外環境」を実現し、「生活者との信頼関係」を築くことで「社会に貢献すること」を経営の基本方針としています。

また、塗料販売事業と施工事業において、床用・屋根用・防水用などの建築用塗料、DIY用・ホームケア商品などの家庭用塗料、路面標示材などの道路用塗料と施工機械、これらに関するサービスを提供し、それぞれの分野でナンバーワン、オンリーワンを目指します。

代表的な製品群は次のとおりです。

(1) 路面標示用塗料



水性路面標示用塗料の速乾化技術をはじめ、水性型、溶剤型、溶融型のJIS規格品をはじめとする各種製品で交通安全に貢献しています。

(2) カラー舗装材



高速道路の進入箇所や歩車道分離・自転車通行帯などのカラー化により、走行区分を明確にし、交通事故の防止に貢献しています。

(3) 床用塗料



工場や倉庫、店舗等の床について、新設から改修まで、幅広い製品と工法でニーズに合わせた快適に働く環境づくりに貢献しています。

(4) 屋根用塗料



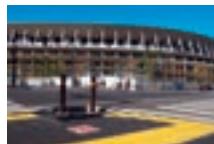
屋根の美化・保護に加えて高耐久性や遮熱性能を付加した製品で快適な生活と働く環境に貢献しています。

(5) 水性防水塗料



環境負荷の少ない健康に優しい製品で、水性化技術の応用又アクリル樹脂を使用した水性防水材・水性外壁防水材として建物の長寿命化に貢献しています。

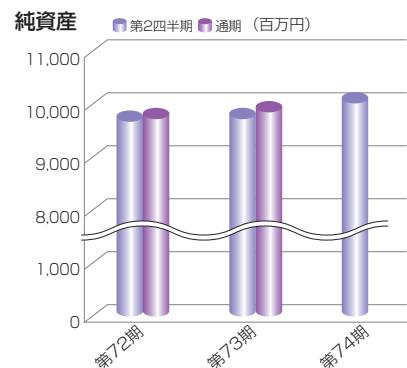
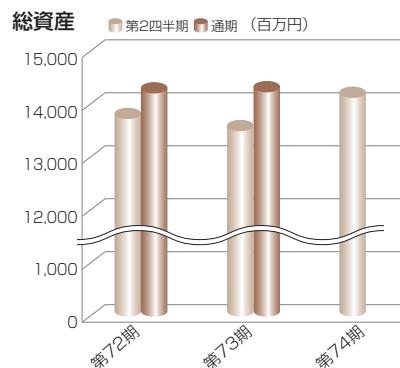
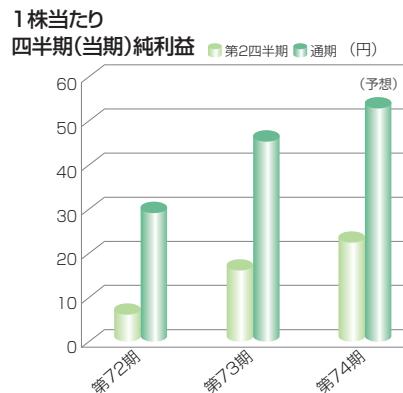
(6) 視覚障がい者用標示材



特殊な樹脂や骨材の配合で、耐候性、耐摩耗性に優れるとともに、滑りにくい表面加工によって視覚障がい者の安全な誘導に貢献しています。

業績の推移

当社グループの業績の推移



区 分	第72期 2019年3月期		第73期 2020年3月期		第74期 2021年3月期	
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期 (予想)
売上高 (百万円)	4,692	10,321	4,863	10,518	4,804	10,900
経常利益 (百万円)	77	301	172	440	212	490
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)	37	184	103	282	139	330
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	6.03	29.46	16.49	45.18	22.30	52.68
総資産 (百万円)	13,728	14,211	13,498	14,231	14,125	—
純資産 (百万円)	9,679	9,728	9,728	9,856	10,009	—

四半期連結決算報告(要約)



四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前期末 2020年3月31日現在	当第2四半期末 2020年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	8,645,352	8,569,141
固定資産	5,586,058	5,555,882
有形固定資産	4,467,748	4,380,634
無形固定資産	227,901	207,436
投資その他の資産	890,408	967,811
資産合計	14,231,410	14,125,024
(負債の部)		
流動負債	3,629,912	3,399,538
固定負債	745,154	716,192
負債合計	4,375,066	4,115,731
(純資産の部)		
株主資本	9,687,528	9,731,385
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	740,308	740,308
利益剰余金	8,352,204	8,393,426
自己株式	△ 444,984	△ 442,349
その他の包括利益累計額	168,814	277,906
その他有価証券評価差額金	169,779	278,324
退職給付に係る調整累計額	△ 964	△ 417
純資産合計	9,856,343	10,009,292
負債純資産合計	14,231,410	14,125,024

四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

科目	前第2四半期 2019年4月1日～ 2019年9月30日	当第2四半期 2020年4月1日～ 2020年9月30日
売上高	4,863,868	4,804,874
売上原価	3,357,753	3,299,210
売上総利益	1,506,114	1,505,664
販売費及び一般管理費	1,348,770	1,304,850
営業利益	157,344	200,813
営業外収益	17,380	13,719
営業外費用	2,674	1,902
経常利益	172,050	212,630
特別利益	49	150
特別損失	1,558	30
税金等調整前四半期純利益	170,542	212,749
法人税、住民税及び事業税	42,204	42,182
法人税等調整額	25,136	30,828
四半期純利益	103,201	139,738
親会社株主に帰属する四半期純利益	103,201	139,738
その他の包括利益	△ 8,455	109,092
四半期包括利益	94,745	248,830

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前第2四半期 2019年4月1日～ 2019年9月30日	当第2四半期 2020年4月1日～ 2020年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	431,839	647,483
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 210,529	△ 84,900
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 189,545	△ 191,451
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 7	△ 3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	31,757	371,128
現金及び現金同等物の期首残高	2,726,252	2,756,971
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,758,009	3,128,099



1. 会社概要

商号 アトミクス株式会社
 本社 東京都板橋区舟渡三丁目9番6号
 創業 昭和12年2月
 資本金 10億4,000万円
 従業員数 230名 (従業員数に嘱託社員を含めています。)

2. 主要な事業所及び工場

本社 東京都板橋区
 支店 大阪府大東市
 営業所 札幌・仙台・新潟・横浜・
 名古屋・広島・福岡
 工場 加須・久喜・岡山

3. 役員

代表取締役社長 神保敏和
 取締役 村岡正己
 花形裕透
 小川博巳
 富士田学
 田中滋子 (社外・独立役員)
 常勤監査役 佐藤亮介
 監査役 上原左多男 (社外・独立役員)
 石川伸吾 (社外)
 執行役員 川端裕之
 鈴木太亮
 宮里勝之

4. 株式の状況

発行可能株式総数 30,000,000株
 発行済株式の総数 7,242,000株
 株主数 1,096名
 大株主 (上位11名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
西川不動産株式会社	978千株	14.89%
アトミクス取引先持株会	843	12.84
東京中小企業投資育成株式会社	700	10.65
株式会社日本カストディ銀行 (信託口4)	321	4.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (株式付与ESOP信託口・75715口)	301	4.59
西川正洋	280	4.27
ナラサキライン株式会社	134	2.05
東洋テック株式会社	126	1.91
アトミクス社員持株会	110	1.68
楠本化成株式会社	106	1.61
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	106	1.61

※持株数については千株未満を、持株比率については小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。また持株比率は株式付与ESOP信託口が保有する301,700株を除いた自己株式(674,217株)を控除して算出しています。

5. 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金受領株主
 確定日 3月31日
 中間配当金受領株主
 確定日 9月30日 (中間配当を実施するとき)
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人・
 特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 同送付先
 上場証券取引所 東京証券取引所
 証券コード 4625
 公告の方法 電子公告
 URL <https://www.atomix.co.jp>
 (やむを得ない事由により、電子公告
 によることができない場合は、日本
 経済新聞により公告いたします)

ATOMIX

<https://www.atomix.co.jp>